



事例紹介

資料3

守谷市上下水道 施設管理等包括業務委託

擴大包括業務委託



守谷市
上下水道事務所

市の概要



守谷市は、茨城県の南西端に位置し、東京都心から40キロメートル圏内にあり、三方向を利根川・鬼怒川・小貝川に囲まれた島状の地形です。

市内には、つくばエクスプレスや関東鉄道常総線、常磐自動車道が通っており、常磐自動車道の守谷サービスエリアは東京方面最後のサービスエリア、水戸・いわき方面最初のサービスエリアとして多くの方に利用されており、茨城県の玄関口として期待が高まっています。

人口（令和5年7月1日現在）

70,500人（男/35,277人、女/35,223人）

総面積

35.71平方キロメートル

●●● 守谷の5つの魅力



01 守谷の「住環境」

鉄道、道路などのインフラが充実しており、街並みがきれい。首都圏への通勤、通学も快適です。



02 守谷の「子育て」

毎日いろいろな場所で子育て講座やイベント、親子の交流の場を開催しています。



03 守谷の「自然」

都心からわずか40キロ圏内のまちとは思えない風景を、ご覧ください。



04 守谷の「楽しみ」

年間を通して様々なイベントが開催されております。



05 守谷の「食」

野菜やヨーグルト、お蕎麦やスイーツ。
守谷にはおいしい地場産品がいっぱいです。

01-1



道幅が広く、植栽の美しい道路

01-2



守谷駅から秋葉原駅まで最短32分

02



子育て支援施設は充実の13か所

03



守谷野鳥のみち

04



八坂神社祇園祭（7月）

05



守谷SAやさい村

沿革 — 守谷市の上下水道事業の沿革

昭和40年代

昭和50年代～平成初期

平成10年代

平成20年代以降

水道

昭和46年
簡易水道事業発足

昭和47年
簡易水道給水開始

昭和53年
上水道創設事業

昭和55年
第一次拡張事業

昭和57年
県南広域水道用水
供給事業より浄水
の受水開始

昭和57年以降
第二次拡張事業



茨城県企業局利根川浄水場

平成17年
水道施設管理も
包括業務委託の対象に

平成17年
水道事務所と下水道課
を上下水道事務所上下
水道課として組織を統
合



守谷市上下水道事務所

平成21年
第三次拡張事業

■給水区域
…市内全域

令和元年
浄水施設を廃止し
全量県水受水

下水道

昭和47年
企画開発課内に
下水道係設置

昭和49年
・事業認可 北守谷地区
・終末処理場

昭和57年
・事業認可区域の拡大
・工業専用区域及び市街化調整区域

平成5年
・事業認可変更
・終末処理場

平成12年
下水道施設管理の
包括業務委託を開始

平成16年
市内全域下水道整備完了

平成17年
下水道事業に、地方公営
企業法を全部適用

平成27年
FITを活用し
た消化ガス発
電事業開始



守谷バイオガス
パワー

平成30年
・事業認可変更

農業集落
排水

平成8年
西板戸井地区農業集落
排水事業計画採択

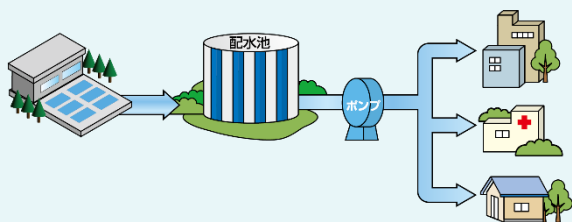
平成12年
西板戸井地区農業集落排水処理場
運転開始
→翌13年度から**包括業務委託の対象に**

●●● 守谷市上下水道事業

水道事業



茨城県企業局利根川浄水場で浄水された水を受水し、安全できれいな水を各家庭に配水します。



行政区域内人口	70,404人
給水人口	70,017人
普及率	99.45%
年間総給水量	6,949,191m ³
年間総有収水量	6,748,013m ³
有収率	97.11%

※令和4年現在

下水道事業



汚水処理された水は河川に放流され、公共用水域の水質が保全されます。



行政区域内人口	70,404人
処理区域内人口	69,841人
普及率	99.20%
年間処理水量	11,912,420m ³
年間総有収水量	10,284,870m ³
有収率	86.34%

※令和4年現在

農業集落排水事業



平成12年度から供用が開始され、処理区域における水環境と生活環境を大きく改善しました。



「農業集落排水事業のイメージ」（農林水産省）を加工して作成
https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/nn/n_nouson/syuhai/

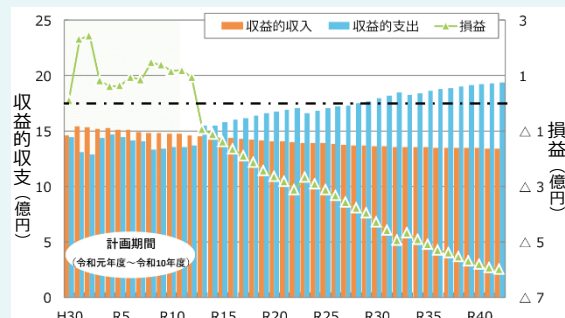
処理区域面積	28ha
地方公営企業法の適用	非適用
処理区域内人口	563人
水洗化率	98.4%

※令和4年現在

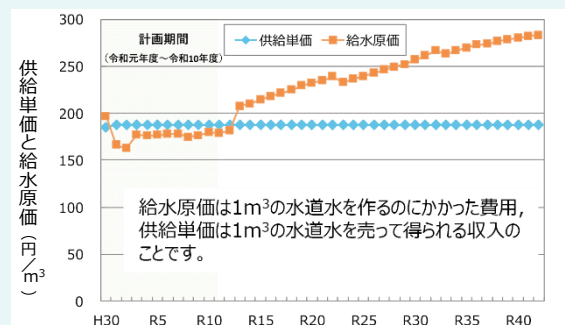
財政状況

水道事業

令和13年度以降は収益的支出が収益的収入を上回り、赤字経営となる見込み。また、水道水を作るのにかかった費用を水道料金で賄うことが難しくなる見通し。



収益的収支

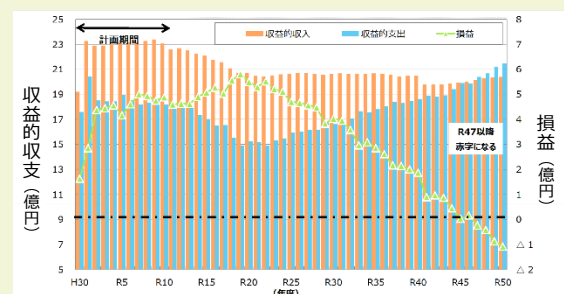


供給単価と給水原価

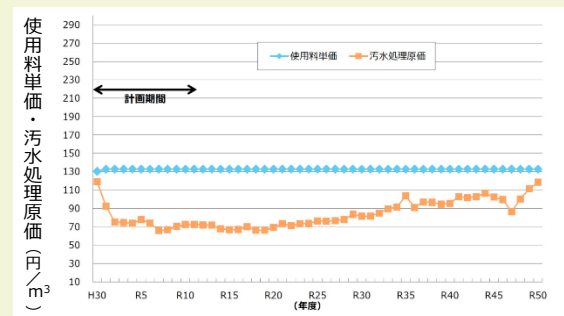
(出典) 守谷市水道事業経営戦略 (平成31年)

下水道事業

R10年度以降は資産の更新費用の増加に伴い、**収益的支出は右肩上がり**で推移。また、汚水処理原価が上昇し、下水道使用料に占める**汚水処理費**が増加する見通し。



収益的収支と損益

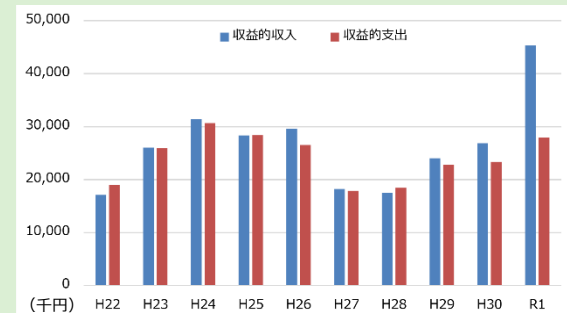


汚水処理原価と使用料単価

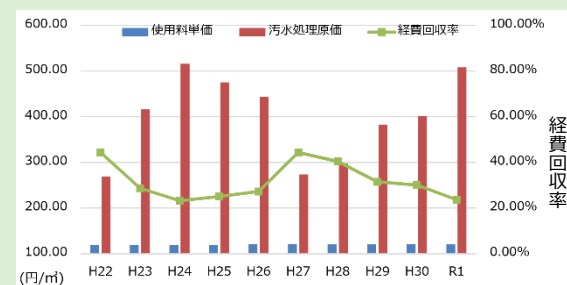
(出典) 守谷市公共下水道事業経営戦略 (平成31年)

農業集落排水事業

収益的収入・収益的支出は、例年**横ばい傾向**。地方債償還金を含めた収益的収支比率も同様。経費回収率は全国平均と比べ**低い水準**で推移。今後も同様の見通し。



収益的収支の推移

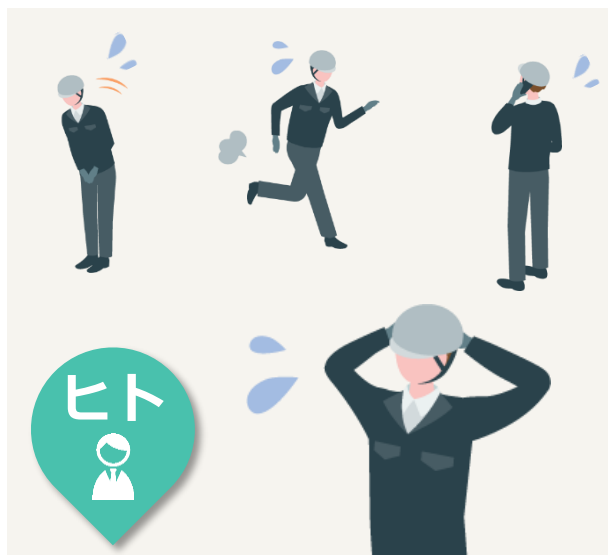


使用料単価、汚水処理原価、経費回収率の推移

(出典) 守谷市農業集落排水事業経営戦略 (令和3年)

●●● 守谷市が抱える現状の課題

守谷市における課題



施設の老朽化や
設備の更新需要の
増大へ対応する
実施体制の確保



老朽化設備の増大や
施設の耐震化への
対応とストック情報
基盤の未整備



健全経営の
維持・継続と安定した
事業費（財源）
の確保

課題解決に向け取組んだ検討

守谷市の検討ポイント

ヒト



官民連携の拡大による
職員の負担軽減と
実施体制の強化

モノ+しくみ



コンサル業務の包括化
→事業運営の最適化
課題解決の迅速化
DX導入→運営基盤の構築

カネ



交付金制度の最大
活用による市費削減
と安定財源の確保

拡大包括業務委託の導入

●●● 拡大包括業務委託の概要

業務の目的

水道施設、下水道施設、農集施設の**運転維持管理及び上下水道事業に係るコンサルタント業務**を包括的に民間事業者に委託することにより、民間の創意工夫及びノウハウを活用し、**上下水道事業の効率化と上下水道利用者へのサービス向上**を目指します。

業務内容

- 運転管理業務
- 保守管理業務
- 修繕業務
- 廃棄物管理業務
- **コンサルタント業務**（計画業務、設計業務、施工監理業務）

- | | |
|---------|--------------------------|
| ■ 水道施設 | 守谷配水場及び関連水道施設 |
| ■ 下水道施設 | 守谷浄化センター及び関連ポンプ場 |
| ■ 農集施設 | 西板戸井地区農業集落排水処理施設及び関連ポンプ場 |

業務期間

令和5年4月1日～令和15年3月31日までの**10年間**

業務の特長

- 予算項目を横断した効率的な運営管理による**事業費削減**（3条、4条予算の最適化）
- コンサル業務（設計や計画策定、施工監理）導入による**交付金や補助金活用の最適化**
- O&M企業とコンサル企業連携による**効果的かつ実効性が高い事業運営**
- 維持管理情報に基づく**効果的な修繕計画**、ストマネ、アセマネ計画立案



拡大包括業務開始までのスケジュール

年	月	実施内容
令和3年	—	プロポーザルの実施要領（案）、要求水準書（案）及び業務委託契約書（案）の作成
令和4年	7月～8月	プロポーザル事業者選定審査委員会の設置
	9月	議会／債務負担行為設定
	9月～11月	プロポーザル公告／事業者選定
	11月末～12月	優先交渉権者決定／契約交渉
	12月下旬	契約締結
令和5年	契約締結翌日～3月	業務引継ぎ期間
	4月	次期包括業務開始



ご清聴ありがとうございました